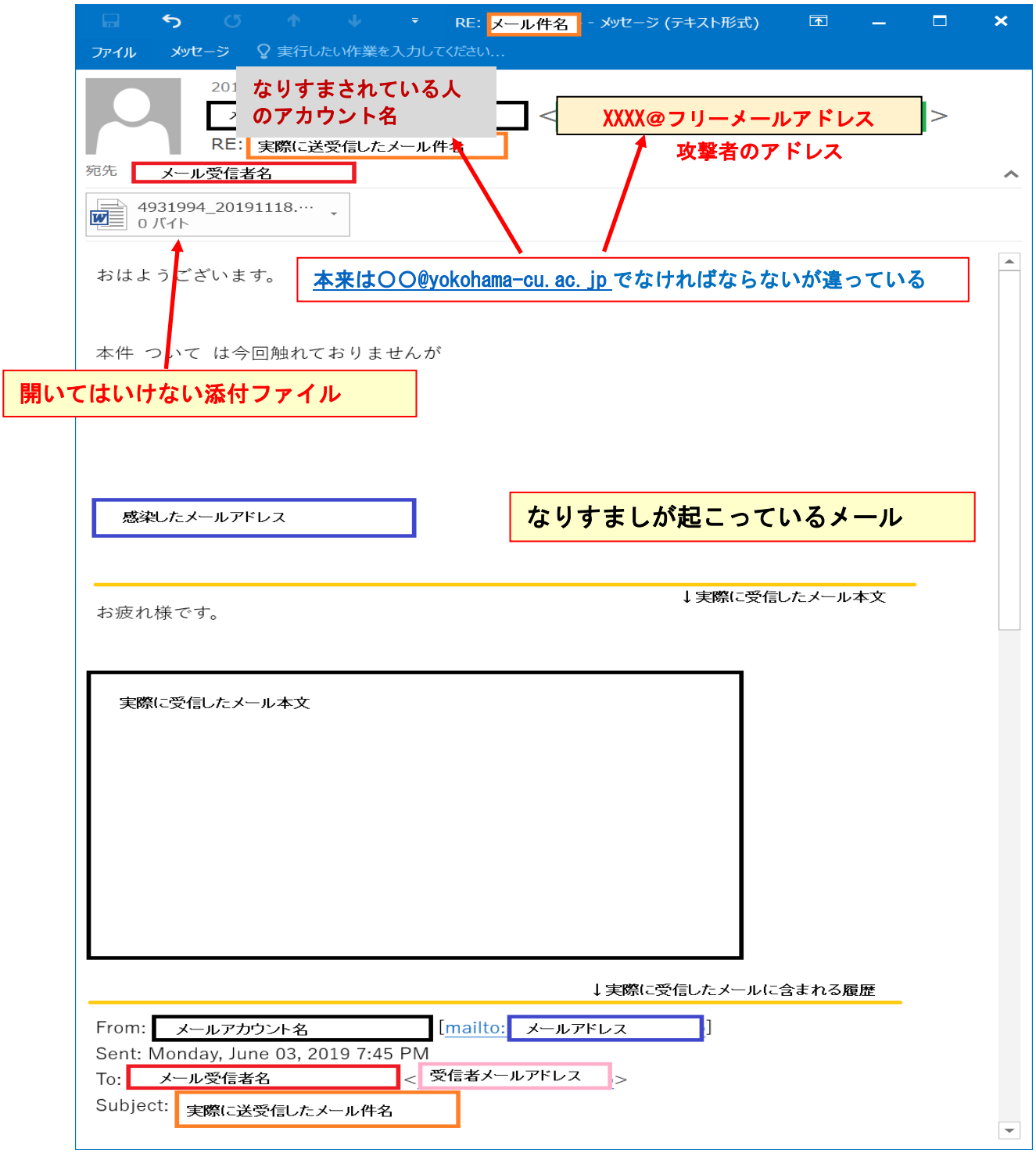
不審メールの見分け方とその対策

1　見分け方

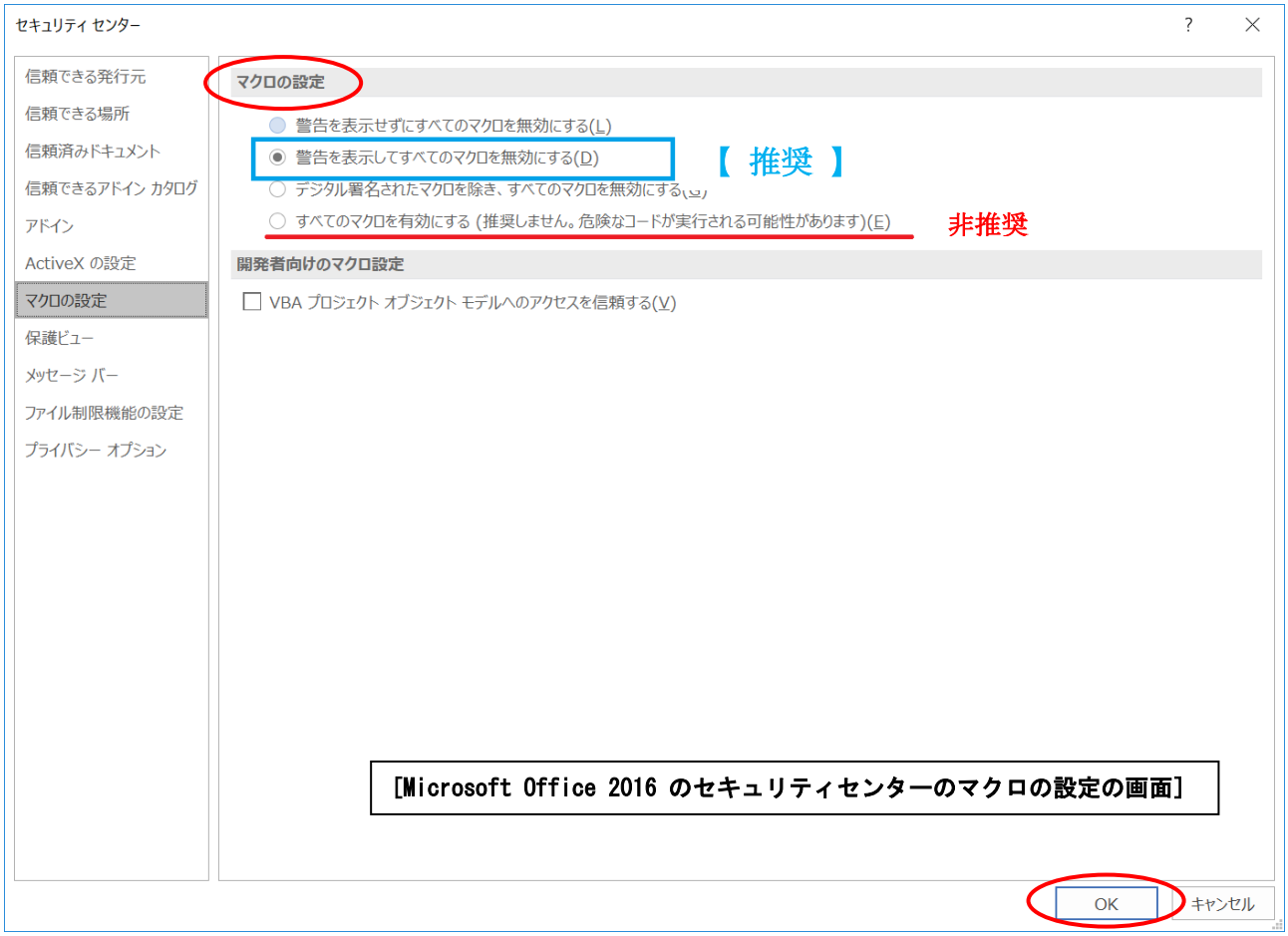
本来は送信者のアカウントとメールアドレスは一致していますが、なりすましが起きていると、例えば横浜太郎：〇〇@yokohama-cu. ac. jp が本来正しい送信者の場合に、〇〇@yokohama-cu. ac. jp でないアドレスが表示されています。



（次ページあり）

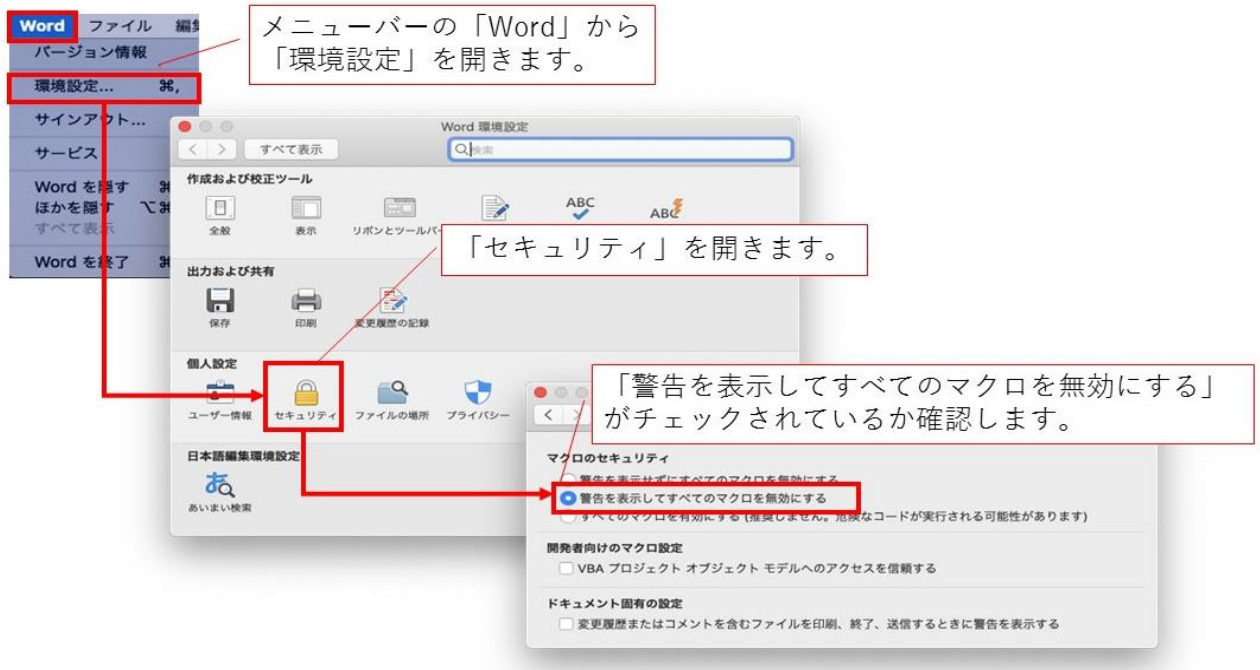
２　対　策

(1) Microsoft Word を立ち上げ、「ファイル」→「オプション」→(Word のオプション画面)「セキュリティセンター」→「セキュリティセンターの設定」の順にクリックすると以下の「マクロの設定」画面になります。



［Microsoft Office 2016 のセキュリティセンターのマクロの設定の画面］

※macOSの場合



(2) マクロの設定画面で
二つ目 「警告を表示してすべてのマクロを無効にする（D)」を選択します。
最後に、右下のＯＫをクリックします。